

ナウマン通信



2022年
2月3日発行
第31号

大阪市立我孫子南中学校

声が聞こえる



コロナの感染拡大により、1月14日に最初の学校休業となりました。再開しては休業を繰り返し、みんなにはつらく、苦しい思いをさせたことと思います。ようやく1月28日から学校再開となり、少し落ち着きを取り戻したかのように思います。しかし、大阪の感染者は連日1万人を超え、いまだ油断のできない状況に変わりはありません。家族に陽性者がでて、来たくても学校に来られない人もたくさんいます。何度も言いますが、誰が悪いわけでもありません。誰かに責任があるわけでもありません。どうかみんなも絶対に油断をせず、感染予防に努めてください。

学校が始まるとみんなの声があちらこちらから聞こえてきます。休業期間中は学校ってこんなに静かだったかと思うくらいシーンとしていました。校長先生はみんなの声が聞こえないことに寂しさを感じていました。授業中の声、休み時間に友達としゃべる声、クラブ活動中に聞こえてくる元気な声。みんなの声が学校の活気になっていることは間違いありません。だから学校再開の時に最初に思ったのが『**ああ～声が聞こえる**』でした。やっぱりみんながあつての学校です。この状態を続けていけるように頑張っていきましょう。

福は～うち、鬼は～そと



今日、2月3日は節分の日です。『**節分**』について紹介したいと思います。節分はもともと季節を分ける日という意味で、本来は立春、立夏、立秋、立冬の前の日を指しています。現在の暦には立春前日の節分だけが残っていますが、これは江戸時代以降、四季が一巡する立春前日を節分とするようになったからと考えられています。さて、立春を1年の始まりとしていた頃は、節分が現在の大晦日にあたるため、様々な年越し行事が行われていました。大豆を炒った福豆をまいて邪気を祓い、年の数だけ豆を食べて1年の幸せを祈る豆まきや鬼が嫌うとされる臭いが強いイワシとトゲがあるヒイラギを使い、「柊鰯(ヒイラギイワシ)」を玄関に飾る風習などもそうです。「縁を切らない」という縁起担ぎで、恵方を向き願い事を思い浮かべ、恵方巻を黙々と食べる人もいます。今年の恵方は「**北北西**」です。さあ～みんなは何を願いますか？